

生活保護等版レセプト管理システムについて
(瑞浪市役所社会福祉課厚生援護係 作成)

現在、瑞浪市で使用しております生活保護等版レセプト管理システムは、従来の紙媒体のレセプト（患者が受けた保険診療について、医療機関が保険者（市町村や健康保険組合等）に請求する医療報酬の明細書）を手作業により整理及び処理していた状況を改善するため、厚生労働省が富士通エフアイピー株式会社へシステム化及び運用を委託し、開発されたものです。

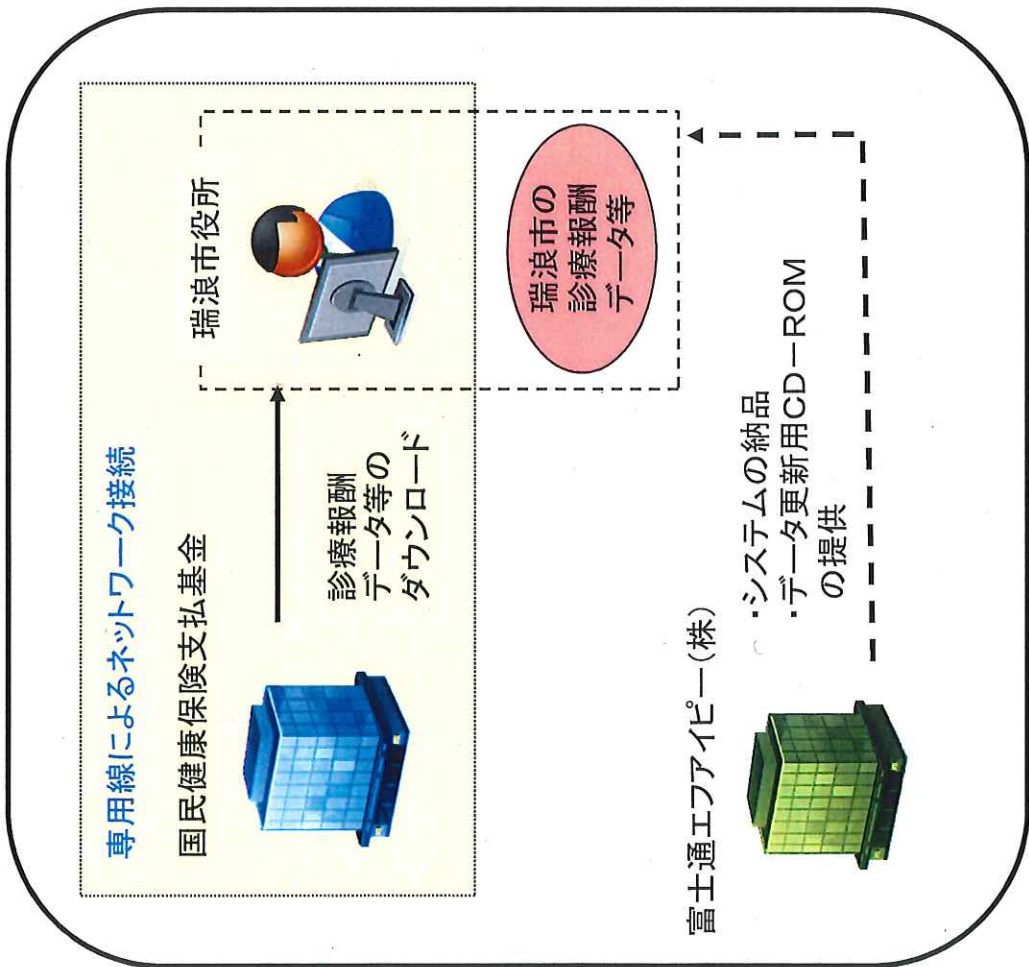
そのシステムは、レセプトデータを国民健康保険支払基金から専用回線を通じて一旦ダウンロードし、自治体の端末に取り込み、その端末のみで利用するもので、瑞浪市側から情報提供を行うことはありません。

平成23年の導入から7年程度経過しており、システムの目立った不具合も特にありませんでしたが、昨年7月に、システムを提供している富士通エフアイピー株式会社より、システムの維持メンテナンスが技術的、体制的に困難となっていることから、2018年以降の同システムのサポートを終了することとし、その代わりとして、2016年よりサービス提供しているLGWANを活用したクラウドサービス（データやソフトウェアをネットワーク経由で利用者に提供するサービス）を利用してほしい旨の文書が届きました。（別図参照）

当該クラウドサービスは、県内都市では瑞浪市を除く全市が導入しており、LGWANを活用することによりセキュリティ面でも問題はないことから、瑞浪市でも導入を検討したいと考えております。

生活保護等レセプト管理システムの概要

従来のシステム



LGWANを活用したサービス

